

- 3月定例会議のあらまし…… 1
- 議会報告会・意見交換会…… 1
- 3月定例会議代表質問…… 2
- 3月定例会議一般質問…… 4
- 3月定例会議議決結果…… 7
- 請願・陳情の審議結果…… 7
- 予算特別委員会の概要…… 8
- 委員会活動…… 9
- 1月緊急会議のあらまし…… 10
- 同意した人事案件…… 10



発行 福島市議会  
編集 福島市議会事務局

福島市五老内町3番1号  
電話 (024)525-3776  
FAX (024)534-2520

http://www.city.fukushima.  
fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/  
福島市議会 検索

## 3月定例会議のあらまし

### 平成30年度一般会計予算案など 各会計新年度予算案を可決

平成30年3月市議会定例会議は、3月1日から27日までの27日間にわたり開催されました。

定例会議初日には、平成30年度一般会計予算案など議案52件及び報告1件が市長から提出され、このうち副市長選任の件については、同日に採決を行い、原案のとおり同意しました。

7日から3日間にわたり行われた代表質問には会派を代表した5人の議員が登壇、12日から4日間にわたり行われた一般質問には14人の議員が登壇し、市政の諸課題に関する質問がなされました。

15日には、平成30年度予算に関する議案を審査するため、予算特別委員会を設置しました。

最終日の27日には、各委員長報告、討論、採決が行われ、提出された議案については、いずれも原案のとおり可決しました。

また、追加議案として市長から提出された2人目の副市長選任をはじめとする人事案件について、原案のとおり同意しました。

その後、市議会委員会条例の改正案及び議員提出の意見書案をいずれも可決しました。

なお、提出された議案及び議決結果は7ページに掲載しています。

## 議会報告会

議会で取り組んでいる活動を報告します。

## 意見交換会

参加者の皆様に意見を伺い、議会活動に生かします。

平成30年  
春季

【開催日時と開催場所のご案内】

5/7 (月)	午後7時▶午後8時30分 飯野学習センター
5/8 (火)	午後7時▶午後8時30分 北信支所

5/9 (水)	午後6時30分▶午後8時 もちずり学習センター
5/11 (金)	午後1時30分▶午後3時 吾妻学習センター

どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場にお気軽にお越しください。



前回の議会報告会の様子

## 平成30年度一般会計予算の概要

当初予算額：1,348億4,000万円

除染関連事業を除いた当初予算額は  
1,003億3,600万円

### 重点事業の主なもの

- 待機児童の解消を目指します  
・待機児童対策緊急パッケージ  
13億9,349万円
- 学校トイレ洋式化率80%を目指します  
・学校トイレ洋式化改修事業  
2億3,250万円
- 福島大笹生インターチェンジ周辺地区の整備を進めます  
・新工業団地整備事業  
5億2,610万円
- ・地域振興施設 [道の駅] 整備事業  
5,020万円
- 保健所を設置し、総合的な保健衛生サービスを提供することで、安全・安心で生涯をいきいきと暮らせるまちを目指します。  
・中核市への移行に関連する事業  
11億6,415万円



# 市政を問う 代表質問

各会派を代表した5人の議員が、市長の施政方針や予算編成方針をはじめとした市政運営に関する質問を行い、答弁がなされました。

市民 21 石原洋三郎

市民の生命と財産を守る  
詐欺被害防止条例設置に向けて

**問** 千葉県柏市においては、社会本理念に、様々な詐欺被害の防止に取り組んでいる。

本市における詐欺被害防止条例の設置に向けた調査研究の内容と見通しについて伺う。

**答** 全国の市町村で初めて詐欺被害防止条例を制定した千葉県柏市から情報提供を受け、現在、研究を行っている。

なお、詐欺被害の防止については、警察、事業所、市民、行政等の各関係者が連携し、社会全体で取り組むことが必要である。

ことから、今後、関係者同士の十分な情報共有や意見聴取を行うべきと考えられている。



## その他の主な質問

- ①子育て環境日本一条例の制定について
- ②地域包括ケアシステム構築に向けた今後の見通しについて
- ③インフラ整備における交通安全対策の充実について
- ④公共サービスや公共事業の質を高める公契約条例の制定について

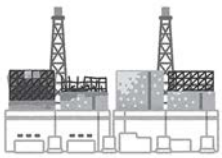
日本共産党 村山 国子

原発事故の正しい情報を  
国内外に発信することについて

**問** 本市は、東京オリンピックの競技会場の一部となっている。原発事故を経験した自治体として、原発事故に起因する影響や対策等について展示するなど、国内外に原発事故の正しい情報を伝える機会とすべきだが、見解を伺う。

**答** 東京オリンピックの本市開催は、国内外から来訪される方々に、本市の今の姿を観て、感じて、本市の魅力に触れていただくことにより、正しい情報を直接発信できる絶好の機会と捉えている。

国や県など関係機関との連携により、本市における空間放射線量の推移や環境、食品に関する放射線対策などの正確な情報を幅広く発信し、更なる風評払拭に努めていく。



## その他の主な質問

- ①自治体の長として憲法第9条の改定に反対の意思を示すことについて
- ②生活保護行政の検証と改善に向けた第三者委員会の設立について
- ③市立幼稚園再編計画の白紙撤回について
- ④市民検診の個人負担の軽減を図ることについて



創政クラブ結 根本 雅昭

十六沼公園スポーツ広場と道の駅の一体的な整備について

**問** 十六沼公園スポーツ広場と福島大笹生インターチェンジ周辺に設置する道の駅を一体的に整備し、東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前合宿の誘致に取り組むことはもとより、大会終了後のレガシーとすべきだが、見解を伺う。

**答** 十六沼公園スポーツ広場は、事前合宿等の会場としてだけでなく、オリンピックの開催を契機としたスポーツのまちづくりの拠点として、全国的なスポーツイベントや合宿を誘致し、オリンピック・パラリンピックのレガシーとしたい。



一方、福島大笹生インターチェンジ周辺に整備する道の駅は、東北中央自動車道の開通を生きかし、交流や活性化の拠点として、本市のシンボルである桃をテーマに、吾妻連峰の眺望や桃源郷を彷彿させる景観との融合等に配慮して、木質建築材料CLT（※）等を活用した建築を検討し、福島らしさを演出したいと考えている。

これら2施設の狙いに沿った魅力を高めながら、相互の利用促進が図られるよう情報提供等の連携に努めていく。

（※）木質建築材料 CLTとは？



ひき板を繊維方向が直交するように積層接着したパネルのことで、施工が容易で頑丈なのが特徴です。CLTの使用により、工期の縮減や建物の重量が軽くなるなどのメリットがあると考えられます。

## その他の主な質問

- ①地域の危険箇所改善のための新たな仕組づくりについて
- ②学校トイレ洋式化と男女別化を100%達成する目標年度について
- ③手話言語条例（仮称）制定に向けた取り組み状況と制定時期について
- ④公共施設におけるWi-Fi環境の状況と今後の整備計画について

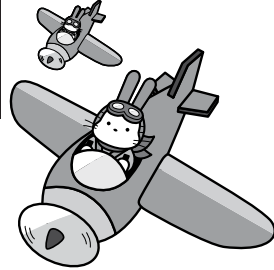
公明党

後藤 善次

ふるさと栄誉賞パイロット  
室屋義秀氏の顕彰について

**問** 福島市ふるさと栄誉賞を受賞されたエアレース・パイロット室屋義秀氏の功績などを広めるため、福島大笹生インターチェンジ周辺に整備する道の駅に、室屋義秀氏の常設展示コーナーを設置することについて伺う。

**答** 福島大笹生インターチェンジ周辺に整備する道の駅の基本計画において、情報展示施設として地域の歴史、伝統、文化等の紹介コーナーを設けることとしており、その中で、室屋義秀氏の常設展示コーナーを設置することについて、今後、検討していく。



その他の主な質問

- ① 国の重点施策「人づくり革命」でもある「人への投資」について
- ② 高齢者の単身世帯が増える社会をどのように捉えているのか
- ③ 東京オリンピックが本市で開催される意義について
- ④ 友好都市協定を締結している荒川区との花もも交流について



社民党・護憲連合

沢井 和宏

中核市移行に伴う移譲事務の業務量と職員配置について

**問** 中核市移行に伴う県からの事務の移譲により、市民生活に支障をきたすことのないよう職員の増員がなされるのか、移譲事務の業務量と人員配置の関係について見解を伺う。

**答** 県の実績から得られた事務処理時間と処理件数による人数の積み上げのほか、先行市の例を参考に、移譲事務を円滑に進めるため、保健衛生行政で45人、民生行政で17人など、72人の増員体制とした。中核市移行後は、定期的な人事ヒアリングなどを通して、業務量の実態把握に努めていく。

その他の主な質問

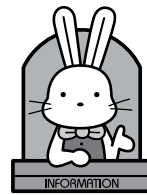
- ① 道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業の見通しについて
- ② 福島大学食農学類と高等学校、地域農業団体との連携について
- ③ まちづくり懇談会の活動状況と市の支援体制について
- ④ 障害者差別解消法の周知と体制の確立について



作成の解消法  
府差別解  
内閣府  
障害者リ  
周知リー  
フレット

議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議と委員会は、原則として公開で行っております。議会の傍聴は、市政と議員の活動を知るよい機会です。ぜひお気軽にお越しください。



■本会議を傍聴するには  
会議当日に市役所7階、議事事務局前の傍聴受付において、傍聴券の交付を受けた後、議場へご案内します。

■委員会を傍聴するには  
本会議における一般傍聴席の定員は64名で先着順となります。

■委員会の傍聴するには  
会議当日に市役所7階、議事事務局において傍聴券の交付を受けた後、委員会室へご案内します。

■委員会の傍聴席の定員は5名で先着順となります。

■傍聴の際にご注意いただくこと  
ご入場時に携帯電話の電源を必ずお切りください。

また、お守りいただくことがございますので、受付時にお渡しする「傍聴される皆さまへ」を一読ください。

本会議の傍聴に  
手話通訳者を手配します

手配をご希望の方は、次の必要事項を記載のうえ、ファクス等で福島市議会事務局へご送付ください。

◆申し込みの際の記載事項

- (1)氏名 (2)住所 (3)ファクス番号 またはメールアドレス (4)本会議傍聴希望日及び時間帯 (5)手話通訳を必要とする人数 (6)待ち合わせ時間 (7)備考(〇〇議員の一般質問)など希望事項をご記入ください)

※なお、福島市議会ホームページから申込書をダウンロードできます。詳しくは、福島市議会ホームページをご覧ください。

◆福島市議会事務局ファクス番号  
024(534)2520

◆手配の可否のご連絡等  
手話通訳者の手配の可否についてファクスまたはメールにてご連絡します。

手話通訳者の手配が可能となった場合、当日待ち合わせ時間までに、市役所7階の議場前へお越しください。



本会議における手話通訳

# 「こころが聞きたい」 一般質問

代表質問に続いて、一般質問には14人の議員が登壇、市政各般にわたって質問を行い、答弁がなされました。

## 行財政

### 市民から出された要望書のデータベース化について

**問** 市民から出された要望書の主旨や回答の内容について、市政に反映させることを目的とし、全庁的に共有するデータベース化を実施すべきだが、見解を伺う。

佐々木 優

**答** 共有が必要と判断される案件については、適宜、関係部局など必要な範囲での情報提供や情報共有を行っている。今後データペー

ス化を実施することなく、関係部局等において適切に対応していく。



## くらし・安全

### 機能別消防団制度の導入について

**問** 本市では消防団員の活動を補完する機能別消防団員の制度は導入していないが、機能別消防団導入の動きは広がりを見せている。制

度導入への今後の道筋について、新時代消防団計画との関係とともに伺う。

二階堂 武文

**答** 機能別消防団制度については、平成30年度に新時代消防団運営協議会において策定する、新時代消防団計画の重要な施策項目に位置付け、導入に向けて取り組んでい



消防団の訓練の様子

### 祇川の浸水対策について

**問** 祇川の調査測量の結果を踏まえた浸水対策として、水路の拡幅、上流水路における雨水排水の分岐、雨水貯留池設置等が来年度調査検討として提案された。これらの検討課題を早急に実施すべきだが、見解を伺う。

小熊 省三

**答** 29年度に祇川の現況について調査した結果を踏まえ、30年度に森合字中川地内及び県立視覚支援学校前について水路の改修方法を検討する。

また、上流水路における分岐については、農業用水路として利用されているため、地元の水利組合及び市内関係部局と協議し、検討していく。

雨水貯留池等については、施設の規模や効果、費用の面から、設置の可能性を含め調査、研究していく。



祇川(県立視覚支援学校付近)

### 市街地における防犯カメラの設置について

**問** 県都の顔として犯罪の未然防止をはじめとした防犯対策をスビード感をもって実施するためには、行政による防犯カメラ設置または民間設置に対する設置費用・維持経費への市の補助が必要と考えるが、見解を伺う。

梅津 政則

**答** 防犯カメラの設置は、市民生活の安全を確保するために、どのような枠組で、どのように取り組んでいくべきか関係機関同士の協議が必要である。

現在、先進自治体における防犯カメラの導入状況について、視察し、調査、研究を進めており、施策全体の枠組、それぞれの関係機関・団体が取り組むべき内容が整理されれば、必要な防犯対策を進めていく。



## 産業・経済

### 農家による有害鳥獣被害対策について

**問** 農家自身がわな免許を取得し、イノシシ被害を減らそうという試みは全国的にも珍しく、猟友会の会員減少を食い止め、イノシシ被害の低減にもつながると考えるが、見解を伺う。

川又 康彦

**答** 農作物被害に対する有害鳥獣被害対策は、野生鳥獣の侵入を防ぐための電気柵の設置などによる自己防衛策と、猟友会との連携や鳥獣対策専門員による捕獲圧を高めて実施していくことが重要である。そのため、地域の地形や鳥獣の行動を熟知している農家自らが狩猟免許を取得し活動を行うことは、大変有効である。

今後も、安全講習会や追い払いなどの実施隊活動により安全で効率的な被害防止を図るとともに、関連する情報について積極的に周知していく。



わな設置講習会の様子

環境・こども

放射線量低減化に向けた支援を国に求めることについて

本市には、一般公衆活動が多い生活圏においても、除染の枠組から外れているため放射線量が高い個所がまだに多く見られる。本市本来の環境に回復させるため、放射線量低減化に向けた永続的支援策を国に求めるべきだが、見解を伺う。

真田 広志

答

除染効果が維持されていない個所への対応については、フォロアアップ除染による対応が可能であるため、放射線量が高い場所が見つかった場合には、現地の状況等を具体的に把握したうえで、国とも協議を行いながら、フォロアアップ除染での対応を検討していく。国による永続的な支援策については、原子力災害からの希望ある復興を推し進めていく観点に立ち、本市の空間線量率の推移や他市の動向等も踏まえながら、今後、国に要望していく。

福祉・健康

歯や口腔の健康に関する 条例について

歯と口腔の健康は、生涯を通じて自分の歯で食べることを可能にするだけでなく、健康の保持や健康寿命の延伸に寄与することが明

らかで、本市としても条例の策定は有効と考えるが、必要性について見解を伺う。

菅田 憲孝

答

本市では、乳幼児期、学童期ともにむし歯有病率が国より高く、青年期、壮年期においては歯みがき習慣のある人の割合が減少している状況にある。そのため、「ふくしまし健康づくりプラン2018」において、歯と口腔の健康の取り組みを重点推進項目に位置付け、むし歯予防、歯周病予防で「8020」の健康づくり目標を積極的に進めるとともに、市民の生涯にわたる歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、福島歯科医師会等と連携しながら条例の制定に向けた検討を行っていく。

ユースプレイス(若者の居場所) 自立支援事業について

ひきこもりの若者の社会参加を支援する自立支援事業について、地域と密接な関係にある本市が主体となり、事業を進めるための課題を伺う。

羽田 房男

答

事業を進めるための課題は、対象者の把握、事業参加に対する動機付けであると認識しており、本人や家族からの相談窓口となる、県ひきこもり支援センターなどの関



係機関との連携を密にしている。また、自立のための効果的なプログラム開発も課題であると考えており、先進市の取り組みなども参考に研究していく。

齋藤 正臣

フッ化物洗口によるむし歯予防の推進について

保育、教育施設のおよそ9割でフッ化物洗口を実施している伊達市など、他自治体の取り組みを参考に、県及び県歯科医師会が作成したフッ化物応用マニュアルに基づいたむし歯予防を推進すべきだが、見解を伺う。

齋藤 正臣

答

生涯を通じた健康づくりのためには、歯の健康づくりは欠かせず、フッ化物洗口は有効であると考える。子どもたちが健康で様々なことにチャレンジできるようにするうえで、学校が一定の役割を担っていくことが大事であり、教育委員会や関連機関と連携し、工夫を講じて歯の健康づくりを全体として推進できるように取り組んでいく。



まちづくり

大笹生に整備する道の駅のオープン時期について

福島大笹生インターチェンジ周辺に整備する道の駅のオープンは、平成32年の東京オリンピック・

パラリンピックに照準を合わせるべきだが、見解を伺う。

鈴木 正実

近隣の道の駅は、基本計画策定後、管理運営の決定、基本設計、実施設計を経て、建築工事に着手しており、オープンまで3〜4年を要している。

このことから、平成32年7月に開催される東京オリンピック・パラリンピックに合わせたオープンは、工程的に困難である。

しかし、次年度以降の機構改革による組織の強化や各々の作業の迅速化を図り、平成32年度末の復興支援道路相馬福島道路の全線開通に合わせるオープンできるように整備を進めていく。

大笹生に整備する道の駅の運営について

福島大笹生インターチェンジ周辺に整備する道の駅について、農産直売所、農産加工室、レストラン等を民設・民営で運営する法人等を公募すべきだが、見解を伺う。

佐久間 行夫

答

神戸市のように民設・民営で整備しているケースもあるが、本市とは立地条件や整備手法等の状況が大きく異なる。

本市の道の駅の施設整備にあたっては、吾妻連峰の眺望を重視した建物配置にするとともに、木質建築材料のCLT等を用いて、福島らしさを演出した施設とするため、公設で

整備する必要があると考えている。管理運営者については、全国の道の駅の事例を参考とし、収益性やサービスの質が確保できるような民間事業者等の公募も含め、決定していく。



福島大笹生インターチェンジ

### コンベンション推進について

**問** コンベンション施設整備と中心市街地活性化との関連性について、現在取り組んでいる具体的な計画とともに伺う。

阿部 亨

**答** 県都にふさわしい賑わいを創出するためには、コンベンション機能の強化を中心市街地再生の起爆剤として、県立医科大学新学部建設の取り組みや民間活力を生かした再開発、老朽化した公共施設の再編整備などと連携を図り、一体的に進めていく必要がある。今後、有識者や専門家等で構成する検討組織で、民間の考え方や計画等を参考にしながら議論を進め、全体の青写真を本年中に示すことができるよう取り組んでいく。

### 教育・文化

#### 障がいのある幼児の受け入れ体制について

**問** 平成30年度から市立幼稚園の統廃合再編が始まるが、市立幼稚園を活用し心身障がい児、発達障がいのある幼児の受け入れを公の責任において、積極的に行うべきだが、見解を伺う。

穴戸 一照

**答** 今後の福島市立幼稚園の在り方についての答申で、市立幼稚園に、特別な支援を必要と考えられる幼児に関する相談やサポート地域の幼児教育センターとしての役割が期待されると述べられていることを踏まえ、幼稚園の統廃合に伴う条件整備を図り、受け入れを拡大し、共に学び共に育つインクルーシブ教育を推進していく。



#### 読書のまちづくりの推進について

**問** 中核市の福島の特徴として、市民や子供たちが心豊かに暮らせる読書のまちづくりを推進していくべきだが、見解を伺う。

小野 京子

**答** 読書は、市民が健康で心豊かな生活を送るために必要なものだが、とりわけ子供の読書活動

は、子供が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を育むものとされているため、家庭、地域、学校が連携し、社会全体でその活動の推進に取り組むことが重要である。具体的な取り組みとして、図書館でのブックスタートやおはなし会のほか、保育所や学童保育などにおける子供の読書、読み聞かせの機会の充実、SNSを利用した読書情報の提供や、文学、歴史、健康などの講

座を開催し、市民に本に親しむきっかけづくりを提供していく。今後とも、乳幼児から高齢者まで市民が読書に親しむ機会や環境を整備し、誰もがいきいきと心豊かに活躍できるまちづくりを進めていく。



#### 本会議の映像を配信しています

市民の皆様の開かれた議会を目指す一環として、議会開催日に傍聴にお越しいただくことができないう方も、ご自宅などで議会の様子をご覧いただけるよう、本会議の録画映像をインターネットにより配信しています。

福島市議会ホームページのトップページをお開きいただき、「議会議中継」「議会録画中継」を順にクリックしてください。

本号に掲載の代表質問、一般質問の様子など本会議の様子がご覧いただけます。

なお、本会議当日はライブ中継（生放送）もご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



パソコン端末だけでなく、スマートフォンでもご覧いただけます

平成30年3月定例会議 議決結果

○市長提出議案

区分	議案番号	件名	議決結果
平成30年度予算案	3 ～ 6	一般会計、水道事業会計、下水道事業会計、農業集落排水事業会計	○
	7 ～ 16	特別会計(国民健康保険事業費、飯坂町財産区、公設地方卸売市場事業費、土地区画整理事業費、介護保険事業費、庁舎整備基金運用、後期高齢者医療事業費、青木財産区、工業団地整備事業費、母子父子寡婦福祉資金貸付事業費)	
平成29年度補正予算案	42 ～ 44	一般会計、水道事業会計、下水道事業会計	○
	45 ～ 48	特別会計(国民健康保険事業費、庁舎整備基金運用、後期高齢者医療事業費、工業団地整備事業費)	
条例制定案	22	福島市体育館・武道場条例	○
	24	福島市企業立地促進条例	
	33	福島市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例	
条例改正案	17	市長等の給与に関する条例	○
	18	福島市職員の給与に関する条例等	
	19	福島市職員の退職手当に関する条例等	
	20	福島市手数料条例等	
	21	福島市教育実践センター条例	
	23	福島市地区体育施設条例	
	25	福島市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等	
	26	福島市障がい者の利用に係る公の施設の使用料等の免除に関する条例	
	27	福島市重度心身障がい者医療費の助成に関する条例	
	28	福島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	
29	福島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等		
30	福島市国民健康保険条例		

区分	議案番号	件名	議決結果	
条例改正案	31	福島市国民健康保険税条例	○	
	32	福島市介護保険条例		
	34	福島市後期高齢者医療に関する条例		
	35	福島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
	36	福島市夜間急病診療所条例		
	37	福島市旅館業法施行条例		
	38	福島市都市公園条例		
	39	福島市道路占用料徴収条例		
	40	福島市地区計画において定められる再開発等促進区地区整備計画区域内における建築物の制限に関する条例		
	49	福島市交通安全対策会議条例		
人事案件	54 ～ 59	副市長選任(2件)、監査委員選任、固定資産評価審査委員会委員選任、固定資産評価員選任、人権擁護委員候補者推薦	○	
	その他	41		包括外部監査契約
		52		市道路線の認定及び廃止
	53	区域外路線の認定の承諾	○	

○委員会、議員提出議案

区分	議案番号	件名	議決結果
条例改正案	60	福島市議会委員会条例	○
意見書案	61	予防接種に対する国の財政措置を求める意見書	○
	62	福島大学食農学類(仮称)の設置、人材養成に係る財政支援を求める意見書	
	63	待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書	
	64	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	

※議決結果欄について ○：原案可決、同意 ×：原案否決、不同意

**請願・陳情の審議結果**

3月定例会議では、請願2件と陳情6件を審議しました。

**新しく提出された請願・陳情**

〔採択〕

- 請願第1号 「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出方について」の請願
- 陳情第2号 「公共工事における賃金等確保条例」(公契約条例)の早期制定を求めることについて」の陳情
- 陳情第5号 「公共工事における賃金等確保条例」(公契約条例)の早期制定を求めることについて」の陳情
- 陳情第6号 「待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書提出方について」の陳情

〔不採択〕

- 請願第2号 「消費税10%増税中止を求める意見書提出方について」の請願
- 陳情第1号 「パラマウント運動研究所未納額の補正予算可決に関することについて」の陳情
- 陳情第3号 「東日本大震災特別区域法に基づく復興産業集積区域の拡大を求めることについて」の陳情
- 陳情第4号 「(仮称)福島中央認定こども園移行にあたる施設の統合に関することについて」の陳情

# 予算特別委員会

## 委員の目(総括質疑)



3月15日開催の本会議において、平成30年度予算(※)を審査するため、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、平成30年度予算に関する各議案を付託しました。

その後開催した予算特別委員会の全体会では、正副委員長を互選の後、各常任委員会を単位とする分科会を設置しました。

3月16日から5日間にわたり開催した各分科会では、市当局の説明を聴取し、慎重に審査を行いました。

3月23日には全体会を開き、総括質疑を実施、その後、各分科会長報告、討論、採決を行い、新年度予算に関する各議案は、いずれも可決すべきものと決定しました。

◎予算特別委員会  
 △委員長▽ 真田 広志(真政会)  
 △副委員長▽ 梅津 政則(市民21)

3月23日の総括質疑には、3名の委員が登壇しました。総括質疑の主な内容をご紹介します。

▽ 問 笑顔でつなぐまち交流事業の内容を伺う。

▽ 答 原発事故による避難区域からの避難者が、心身共に健康な状態で居住地に戻るよう、周辺住民との交流を図る事業に対して補助金を交付している。

▽ 問 東京2020オリンピック・パラリンピック開催関連事業では、障がい者スポーツの誘致活動を予定しているのか伺う。

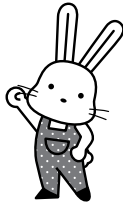
▽ 答 平成30年度に、国体記念体育館において、日本ボッチャ選手権大会が開催されることが決定している。

また、県営あづま体育館において、ウィルチエアーラグビー日本代表の強化合宿などが実施される予定となっている。

(※) 3月定例会議にて審査した平成30年度予算は、次のとおりです。

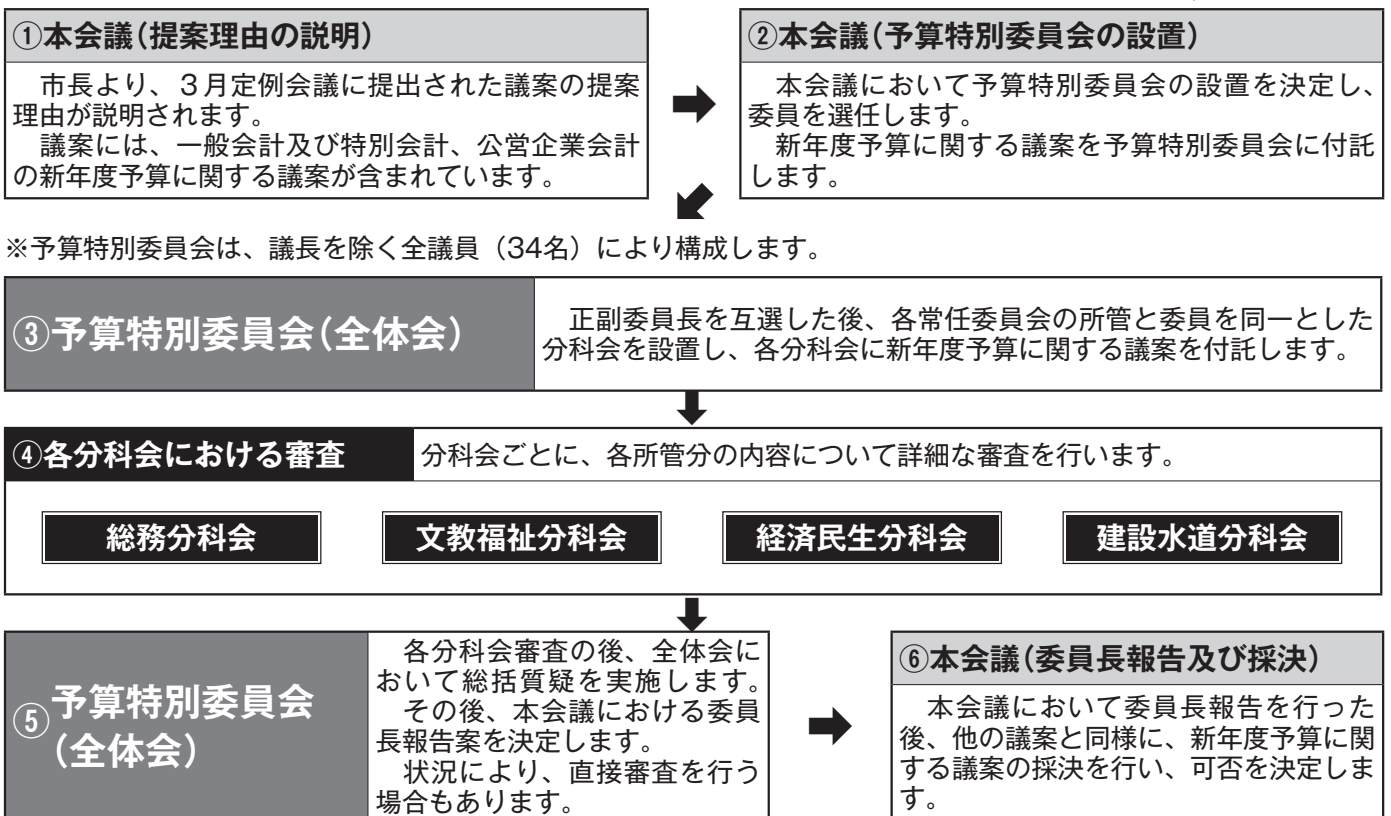
- ③一般会計
- ④水道事業会計
- ⑤下水道事業会計
- ⑥農業集落排水事業会計
- ⑦国民健康保険事業費特別会計
- ⑧飯坂町財産区特別会計
- ⑨公設地方卸売市場事業費特別会計
- ⑩土地区画整理事業費特別会計
- ⑪介護保険事業費特別会計
- ⑫庁舎整備基金運用特別会計
- ⑬後期高齢者医療事業費特別会計
- ⑭青木財産区特別会計
- ⑮工業団地整備事業費特別会計
- ⑯母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計

○左の丸囲み数字は、議案番号です。



## 予算審査の流れ

福島市議会では、3月定例会議において、新年度の予算を審査しています。



※予算特別委員会は、議長を除く全議員(34名)により構成します。



# 常任委員会

## 《議案審査の概要》

本市議会には、総務、文教福祉、経済民生、建設水道の4つの常任委員会があり、定例会議における議案審査を行っています。

また、常任委員会を単位とした予算特別委員会の各分科会にて予算審査を行いました。3月定例会議における主な議案審査及び予算審査の内容は、次のとおりです。

### 総務

当分科会に付託された  
予算審査のうち、一般会

計予算(東京2020オリンピック・パラリンピック開催関連事業)については、野球・ソフトボール競技開催準備事業や事前キャンプ誘致事業、スイス連邦とのホストタウン交流事業、大会本番へ向けた機運を醸成するための事業等を実施するものである旨の説明がありました。

また、一般会計予算(消防団新活動服整備事業)については、これまで夏活動服1着と冬活動服1着を貸与していたものを、国の服制基準変更に伴い、新基準となるオールシーズン活動服1着を平成28年度より新入団員並びに経年劣化による更新者から順次貸与を行っており、平成30年度において、未更新の全団員に対し、新活動服を貸与することで服装の統一を図るものである旨の説明がありました。



消防団の新活動服

### 文教福祉

当委員会に付託  
された議案審査の

うち、福島市体育館・武道場条例制定の件については、現在、霞町に建設中の体育館及び武道場を平成30年10月から供用を開始するにあたり、施設概要や開館時間、使用の許可及び使用料等を定めた条例を制定する旨の説明がありました。



福島市体育館・武道場  
(完成予想図)

また、当分科会に付託された予算審査のうち、一般会計予算における保健所の設置や運営予算については、診療所等の開設許可や医療監視、難病患者の療養に関する相談、感染症や食中毒の予防と対応、食品営業施設の営業許可や監視指導、犬の捕獲及び保護等を行い、生涯を通じた健康づくり、保健衛生、健康危機管理の拠点として、一体的な保健衛生サービスの向上を図るものである旨の説明がありました。

### 経済民生

当委員会に付託  
された議案審査の

うち、福島市企業立地促進条例制定の件については、(仮称)福島大笹生インターチェンジ周辺地区工業団地の造成が完了した一部を平成30年度に分譲予定であることも見据え、本市に事業所の新設、増設または移設を行う企業に対する奨励措置を講ずることにより、本市への企業立地の促進を図り、本市の経済の発展及び市民生活の向上に寄与することを目的とした条例を制定する旨の説明がありました。

また、当分科会に付託された予算審査のうち、一般会計予算(除去土壌搬出等推進事業)については、児童・生徒や周辺住民への安全性及び搬出時期を十分に配慮し、平成30・31年度において、学校や住宅、農地等から仮置場等への除去土壌の搬出を進め、現場保管の早期解消等を図るものである旨の説明がありました。



### 建設水道

当分科会に付託  
された予算審査の

うち、一般会計予算(地域振興施設整備事業)については、地域振興の拠点として福島大笹生インターチェンジ周辺に整備する道の駅の基本設計・実施設計費、敷地ボーリング調査費、開駅準備支援事業委託等を行うものである旨の説明がありました。

また、福島市土地区画整理事業費特別会計予算(福島都心中央土地区画整備事業)については、第2期福島市中心市街地活性化基本計画において、賑わいの拠点や都心回遊軸の中心に位置づけられている、本地区の平成30年度における土地区画整備事業の完了に向け、必要な調査費を計上するものである旨の説明がありました。



(仮称)街なか広場

各常任委員会に付託された議案審査及び各分科会に付託された平成30年度予算審査につきまして、市当局からの詳細なる説明を聴取し、慎重な審議を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

1月25日緊急会議のあらまし

待機児童対策を盛り込んだ  
平成29年度補正予算を可決

待機児童対策を盛り込んだ平成29年度一般会計補正予算など2件の議案を審査するため、去る1月25日に緊急会議が開催されました。

本会議では、市長から提案理由が説明された後、議案に対する質疑が行われ、議員2名が登壇しました。

その後、各常任委員会での議案審査の後、本会議において委員長報告が行われ、提案された議案2件は、いずれも全会一致で可決しました。

議員の目(主な質疑)

○ 今回の補正予算における花見山誘客の事業目標を伺う。

○ 花見山のシーズン中の入り込み客数については、平成29年は約22万3千人であったが、本年は24万人を目指す。

○ 保育士相談支援事業の相談業務には、誰が当たっていくのか伺う。

○ 保育士として十分な経験と豊富な知識を有する嘱託職員をこども育成課に配置し、業務を実施していく。

また、研修は、保育施設の組織マネジメントに見識のある講師を招いて実施する。



同意した人事案件

副市長選任

山本克也副市長が2月26日に退職したことに伴い、副市長選任の件が3月1日に提出され、改めて山本克也氏を副市長とする人事案を同日付けで全会一致により同意しました。



細野喜代志 副市長



山本 克也 副市長

監査委員選任及びその他の人事案件

高村一彦常勤監査委員の任期満了に伴う監査委員選任の件が3月27日に提出され、井上

- ◆ 固定資産評価員 齋藤 英夫 氏
- ◆ 固定資産評価審査委員会委員 渡辺 千賀良 氏
- ◆ 人権擁護委員候補者 渡邊 健壽 氏



1月25日緊急会議に提出された議案の概要

議案第1号 平成29年度福島市一般会計補正予算  
春のふくしま観光緊急対策事業費

1,770万円

春シーズンの来訪者が増加しているタイ及び台湾への情報発信を強化  
SNSを活用したフォトコンテストを開催し、春観光に向けて誘客を促進



待機児童対策緊急パッケージ 1,834万2,000円

待機児童の大幅な減少を目指して、緊急事業を実施

- (1) 保育の受け皿拡大のための事業
  - ・ 預かり保育を充実させる私立幼稚園に対する補助
  - ・ 保護者の相談業務を担当する嘱託職員の配置
- (2) 保育士確保のための事業
  - ・ 保育士の相談を受ける嘱託保育士の配置
  - ・ 潜在保育士の就労や登用に対する支援
  - ・ 県外居住者が市内私立保育施設に就労するために必要な経費の補助
  - ・ 保育士募集などの情報を情報誌に掲載
  - ・ 公立保育所嘱託保育士の月額賃金引上げ



議案第2号 福島市部設置条例の一部を改正する条例制定の件  
【主な改正内容】

- ・ 政策の企画、調整機能の強化を図るため「政策調整部」を新設
- ・ 政策調整部へ事務を移管するため「市長公室」を廃止

6月定例会議日程(予定)

6月1日(金)	本会議(定例日)
6月7日(木)	本会議(一般質問)
6月8日(金)	本会議(一般質問)
6月11日(月)	本会議(一般質問) 議会運営委員会
6月12日(火)	本会議(一般質問)
6月13日(水)	常任委員会 議会運営委員会
6月14日(木)	常任委員会
6月18日(月)	議会運営委員会 本会議(採決等)

- ◆ 本会議、委員会は、午前10時に開議の予定です。
- ◆ 日程及び開議時間は、変更する場合がありますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。(☎525-3776)
- ◆ 6月定例会議で審査する請願・陳情の受理締切りは、6月4日(月)午前11時です。

市議会広報に関するご意見をお待ちしています  
〒960-8601 福島市五老内町3番1号  
福島市議会 広報委員会宛て